

秋の一斉茅刈りは11月10日(土)、 三村交流会in荻町は12月9日(日)、開催決定です！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成30年 9月号

荻町合掌集落の景観に関する懇談会開催！！

7月30日夜、荻町公民館会議室に於いて、みだしの会を開催しました。本懇談会は、荻町集落の景観を高めることを目的に平成19年よりスタートした会合で、今回が通算12回目の開催となります。

今回は各種団体、観光協会、役場観光振興課、教育委員会、守る会より代表者にお集まりいただき、熱い意見交流を行いました。話し合ったことが早急の解決へと実を結びづらい会合ではありますが、継続した話し合いが課題意識の継続と意識の向上につながると信じ実施しています。以下にその内容を記します。

◎各団体の取り組み

- 観光協会：守る会の委託を受け青年部がオオハンゴンソウの除去作業を継続実施。荻町バスターミナルの管理運営。ホスピタリティ溢れたお客様への対応を目指す。
- 民宿連絡協議会：集落内の見回り。落雪注意の看板設置。
- 土産物組合：外に並べる商品の場所を制限。自動販売機のゴミ箱設置への配慮を継続して。
- 飲食店組合：看板やソフトクリームのディスプレイ設置外国人に配慮したお品書き等、景観に配慮したものに。
- 見学施設連絡協議会：新たな看板を増やさない。看板の老朽化に合わせて、より景観に合った看板へと改良。
- 小呂観光推進協議会：民家園のライトアップを継続。伝建地区外であっても荻町同様の景観基準を目指したい。
- 守る会：毎月の定例会での現状変更申請の審議、各種研修会、荻町散策を通して、景観保全への意識向上と組織のレベルアップを。集落北面の休耕地の整備を検討中。



【上：熱く語る参加者の皆さん、下：ピクトグラム案】

◎その他・意見交流

- 合掌家屋を守る取り組みとして、屋根の葺き替えを順次計画的に実施。また、屋根に必要な茅の自給率向上や結による屋根葺きを年に1棟は実施できるように、合掌家屋保存組合等と連携協力。
- 昨年は雨で中止となったが、茅刈りイベントも守る会主催で継続中。今年もご支援ご協力を。
- 様々な国々よりお客様がお出でくださる白川郷。看板の多言語化にも限界が。観るだけでわかる看板のデザイン（ピクトグラム）を検討。先行例として「歩きたばこ禁止」の看板を設置済み。
- 区や村の許可を得ていないドローンは原則集落内禁止。それを示すピクトグラムもぜひ考案を。
- サイン看板の見直しと共に、お客様が集落に入る「せせらぎ駐車場」「荻町バスターミナル」「弥陀島・寺尾臨時駐車場」に、ピクトグラムを集約した看板を設置すると効果的か。
- 昨年集落北面に電光掲示板を設置。それに合わせて不必要な道路看板の撤去や精選を継続実施。
- 景観を守るのも人、壊すのも人。今の荻町集落があるのは、先人先輩方が合掌と自然に溢れた景観を守り観光活用する方針を示し守りつないできたから。美しい景観を保っているからお客様がお出でくださるのであり、それが観光活用につながっていることを忘れてはいけない。
- 各団体の自浄力が景観を高める。話し合った内容を各団体で再考し意識の向上を。【以上文責：和田】

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

リレーコラム①守る会への参画を通して思うこと、やってみたいこと（5番手）

「屋根葺きだけではない。村を守るには一人一人の力が必要です！」

～杜氏として地域をつなぎたい！！～ 合掌環境部長 野谷 信二さん

杜氏を始めて約10年。7、8年は根尾俊道さんご指導の元、手取り足取り詳細に教えていただきましたが、昨年、俊道さんが引退され、杜氏頭として晋也と2人でスタートしました。当初は今までに感じたことのない、うまく出来るかというプレッシャーもあり、俊道さんの存在の大きさを実感しました。

この一年間は神経を張り詰め、事細かく教えてもらった経験を活かし頑張った結果、無事美味しいどぶろく(!?)をつくることができましたと思います。皆さんが祭で「美味しい」と言って飲む姿を見ると、今までの苦労も吹き飛びます。これからも俊道さんに教えていただいたどぶろくの味や思いを大切に守っていきたいです。最後に決してどぶろくづくりは2人では出来ません。総代・区民の皆様のご協力があってこそです。ご迷惑をおかけしますが、地域をつなぐ大切なことのひとつとして、今後ともご理解とご協力をお願いします。



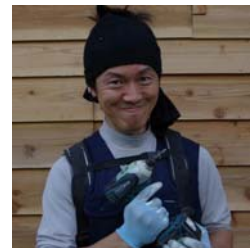
リレーコラム②趣味に仕事に全力投球！その思いが白川村をつなぐ（4番手）

「地域の行事に参加することは勉強そのもの。

学び続けることの尊さを伝えたい！」 吉山 宏司さん

白川村に帰ってきて8年。家を支えていた妹の結婚がきっかけで、長男という立場で帰ってきましたが、自分の中では合掌造りを守っていかなければという気持ちが強かったと思います。帰ってきた頃は、白川村のしきたりや地域性等で戸惑いもありましたが、伝統を守っていくことは想像以上に大変なことなんだと感じています。

白川村民としてまだまだ未熟な自分ですが、合掌造りに住む一員として恥じぬよう、今特に合掌造りに関するイベントに積極的に参加しています。屋根葺き職人さんの手元を見ながら合掌の葺き方や構造を勉強できるのは、昔から伝わった文化や知恵を知るいい機会です。伝統を守っていく大変さや大切さを改めて感じます。白川村民として、伝統を受け継いでいく村人として恥じないよう、日々勉強を心がけていきたいです。



今回は、今まさに地域の中心となり、熱い思いをもって村に暮らすお2人にお話を伺いました。ねそを書いてとお願いに伺った際に、「それならこんなことを伝えたい！」と、すぐにお返事をいただいたことがとても印象的でした。地域の先輩に色々なことを教わる中で、彼らが引き継いだものは、技術だけではなく、「白川村に根付くマインド＝結の精神」そのものであると感じました。地域をつなぐためには、一人一人の思いや行動が大切であることは言うまでもありませんが、上の世代の人が次の世代や地域の子どもたちに、いかに村を思う気持ちを伝えられるかが、これから先、私たちに求められることなのかもしれません。今回の文章を読ませていただき、今だけでなく、10年先、20年先の未来を考えると、自然と「つなぐためにはどうしたらいいのか」が見えてくるような気がしました。[文責:福田]

＝ 8月の活動報告 ＝

- 8月 8日 センガ岩倉庫及び道路の草刈り（有志）
- 8月 8日 8月定例会・役員会
- 8月 10日 ねそ8月号配付
- 8月 15日 荻町区盆踊り（荻町公民館主催）
- 8月 27日 JNT旧松井家・旧寺口家管理運営委員会
- 8月 29日 白川村伝建審議会（役場 会長）
- 8月 31日 現状変更に関わる現地調査（3役）

※ 10月の定例会は、9日(火)公民館会議室にて開催を予定しています。

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

☆9月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

- ****・・・災害による現状復旧
- ****・・・ガンコマサ舗装の施工
- ****・・・軸部修理
- 白川村・・・荻町区内基準点測量鉄の敷設
- 白川村・・・荻町バスターミナル建具取替

※9月の組寄せにて、ねそと一緒に『白川郷かややねプロジェクト、かやかり参加募集』のチラシを配付します。10月の組寄せで参加者を取りまとめますので、荻町住民の皆様のご参加を、よろしくお願い申し上げます！！